

令和7年12月10日

在京花巻人会 12月10日理事会議事録 14:00～16:00

定例会理事参加者

畠山会長、良光、多田、須藤、千葉、佐々木哲男、佐々木健一、瀬川、望月、梅津、10名

会長挨拶

第1議題 会報「第77号」会報の内容について

瀬川編集長より、現在の進捗状況説明

【会報原稿に関して】

1頁、つどい案内文に《徒歩5分》に入る。

2頁、会員活動 マルシェ、カラオケを後から挿入

3頁、在京のつどい報告、石鳥谷、東和、北上、紫波
東和の朗読は×やまなし ○注文の多い料理店、修正

6頁～8頁 思い出コーナー《花巻人シリーズ最終回》

《お知らせ》の字を大きく

べんべろの会、花巻で開催説明

第6回カラオケ会は× 3月20日→3月21日→3月7日

会報の説明等は本日が最終、20日～22日最終稿、

2026年1月6日再確認 2026年1月16日 発送

第2議題 今後の会報のあり方について

前回定例会で梅津理事作成の会報比較表を確認。

様々な企画等の予算捻出も含めて、従来の会報制作方法ではなく
PDF入稿を方針として理事全員で考えていく事とする。

課題として

●原稿 PDF入稿を誰が担うか？

文字サイズ見やすい会報現在の会員に優しい作り方、
年3回発行が参加理事の意向。

会員と非会員のこれから推移(毎年30人程度減少)
会費、読み手に沿った作り方内容。

会員は350人程度、80代が中心、100人～150人
会報の内容は、ホームページ等すみ分け、

イベントの過去の報告ではなく、発送に合わせこれからの予定
定的な内容、週刊、月刊に捉われない内容を充実

現状会員年齢は、70代後半以降で、ホームページ閲覧、
インスタグラム等の利用は少ないが「広報はなまき」同様QR
コードも活用して様々なシーンで会報を活用してもらう施策は
必要。

のQR活用として、名刺にQR、ホームページから会に
アクセスする一般の方々の存在

●内容について

1 頁目、会報の公的な部分として、市長、会長の言葉

2 頁目、会員の活動報告等

以降

【ふる里花巻の新情報】 【ふる里花巻の思い出】

【コミュニティセンターからの花巻情報】

【ふる里花巻の中学校への働きかけ、情報の掲載】

【ふる里花巻の歴史、ヒト・モノ・コトの掲載】

【在京で開催される、花巻関連の予定スケジュール掲載】

【首都圏で出会う花巻コーナー】

●基本的として会報で何を伝えるか、

ネット等ホームページでは何を伝えるかをもう一度考える。
ふる里花巻からの当事者だけではなく、子ども、孫、
花巻生まれではない人にも関心の持てる内容を増やす努力が
必要。

瀬川編集長

花巻人会は、ふる里花巻の為に何かしたい。物産等を紹介・購入促進して花巻
を盛り上げたい。

ふる里花巻を出て在京として住んでいる会員はふる里花巻の在住者とは視点が
違う。

花巻を離れていながら花巻を大切に想う。

花巻との交流、花巻との関係を推進する想いで会報を制作

第3議題 「カラオケ会＆忘年会（12/13）」最終確認

第4議題 今後の理事会の日程について

1月 定例会

13日(火)12:00～ シール貼り、佐々木健一、梅津豊他有志

16日(金)13:00～ 会報発送作業と理事会の為

☆その他

○べんべろの会発表会の報告

畠山会長知人も参加とても好評だった、須藤、娘を手伝わせたのが良かった
誰でもが参加出来る環境を整えたい。

○「歩こう会」今後の予定

現状未定、会員の高齢化を考えピンポイントの観光地巡りなどあまり距離が
長いモノは考えない方向。

○花巻ふるさと会、県人会関連

畠山会長からつどい参加の報告、相変わらず乾杯までのスピーチが長い
つどいが多かった。

来年40周年に向けては、現状、大事はしない。

会報とは区別して、差込記事を制作程度、「あの時私はこうだった云々。」

○ボーリング等

千葉理事のお子さんが興味。

希望者を募り、場所を探して来年やってみる。

○事務所の活用について

梅津理事、音楽鑑賞会？(ステレオセット)を搬入？してからトライ。

畠山会長もLPレコード100枚ある。

○1月以降の定例会(予定)

2月14日(土)、3月28日(土)